

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	発達支援アイリー	公表日	令和 7年 2月 26日
チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		少人数である為、スペースは確保できており、個別支援の場合は別に確保していることで構造化を図っています。
2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		適切な人員を配置しています。
3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<input type="radio"/>	階段昇降において介助が必要な方は、手を添えるなどの介助や見守りを行っています。また、情報を共有して支援しています。
4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日の掃除や消毒の徹底、活動内容に応じて部屋を分けるなど適切な対応をしています。
5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		個室として相談室も開放しています。
6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		都度必要に応じて打ち合わせを行い、目標設定と振り返りを行っています。
7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		各児童のデータをパソコンで共有し、保護者様の意向等の把握に努めています。
8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		気になる事があれば都度職員間で話し合いをする機会を設けています。
9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	第三者による外部評価の機会を設け、業務改善に活かしています。
10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		外部研修に積極的に参加し、職員間で共有しています。
11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		支援プログラムを公表出来る体制を整えています。
12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		定期的に保護者様と事業所内でのモニタリングを行うほか、普段より電話や送迎などで細かく話しを伺い、児童や保護者様の意向を取り入れた支援計画を作成しています。
13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		職員間で日々の様子を共有し、最善の支援を行いうための検討を行っています。
14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		支援計画は職員で共有し、その日の活動内容の確認を行いながら支援を行っています。
15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		適宜保護者面談を行いニーズを把握、再確認したり行動観察を行い個別支援計画を作成しています。
16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」に沿った支援内容を踏まえて個別支援計画に反映、設定しています。
17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		プログラムの目的や子どもの様子に合わせて職員の役割やサポートの仕方を話し合えるよう努めています。

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		子どもやグループの特性によって内容を変化させたり、季節の活動を取り入れたり固定しないためのプログラム立案に努めています。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		一人ひとりの発達に応じ、個々の課題と集団適応・社会性の課題を支援計画に入れています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		活動開始前に打ち合わせを行い、利用者の様子やプログラムの流れ、役割分担や支援方法、配慮点を確認し合います。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎時に保護者様からの連絡事項などその日の振り返りを行い、PCにて個別の引継ぎ事項でも情報共有をしています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援について個別記録を徹底しています。それらを次回のステップアップや改善につなげていきます。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		概ね6カ月に1度、見直しを行っています。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		成功体験を積み自己肯定感を高める、他者と関わる、表現する喜びを体験する等の場面を設けながら支援しています。	
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動の中で自己選択する等の場面を設けながら支援しています。	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		開催される場合には、児童発達支援管理責任者や管理者、担当者など、適任者を選んで出席します。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて関係機関との連携を図っています。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者や相談支援員を通して情報を得ています。また、電話などで学校と情報共有することもあります。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		同施設内の児童発達支援事業所を卒園した利用者は情報共有がなされています。その他の利用者は必要に応じて情報共有を行っています。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		これまでご要望がありませんでしたが、情報提供等をする体制はあります。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターが地域に向けた研修を実施した際には参加しています。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		○	当施設から地域の放課後児童クラブや児童館などへ直接出向いて交流する機会は設けていません。	まだ交流の機会はないですが、地域の保育園と連携し、活動の機会を進めていく予定です。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		毎月の定例会や部会などへ参加しています。	
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の送迎やフィードバックの際に子どもの状況や課題について話をする機会を設けたり、必要に応じて個別に相談の時間も設けています。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		個別での療育では情報共有を図れます。しかし、集団においてはまだできていない状況です。	今後、スタッフを研修へ派遣し、より多くの方へ情報の共有ができるように図っていきます。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明させていただいております。また、不明な点は随時職員が説明するようにしています。利用者負担は変更がある度にお知らせしております。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		お子さんと保護者の意向を計画書に記載し、ニーズを踏まえた支援計画を作成しています。設定した目標に対して支援方針や支援内容の優先順位を踏まえ計画を作成しています。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援計画内容を説明する面談を設け、同意を得ています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		半年に1回程度の保護者会や相談したいことがあれば適宜面談日を設定しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		父母の会、保護者会といった実体のあるものが無いし、今後も立ち上げる予定はないが、何か交流会のようなことができないか、検討しているところです。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し契約時に説明しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		必要に応じて連絡事項などの情報をホームページ上にて発信していきます。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載された書類などは鍵付きキャビネットにて保管しています。また掲示物や配布物の中に個人情報が含まれないよう配慮しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		行動から読み取る、ボードに書く、ことばと身振りを組み合わせるなど、それぞれのこどもの意思表明の仕方を職員が理解し、相互の伝達方法に配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		交流会のようなことができないか、検討しているところです。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事故、災害、感染症などのマニュアルについて職員会議にて対応方法などの確認を行い、保護者会にて説明しています。安全計画の中で全ての研修や訓練を計画し実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPに沿った研修・訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用開始の際、健康状況票を保護者の方に記入していただき確認しています。また必要に応じて聴き取りも行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事提供はしていませんが、アレルギーの原因となりうる教材の使用は見合わせるか保護者の方の同意を得た上で使用することもあります。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練などを統括管理しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画に基づき、感染症や怪我などについて注意喚起や事業所の取り組みについて周知に努めています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		危険な事例があった場合、報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		外部研修に職員が参加したり職員ミーティングにて内部研修を行います。意思表明支援等による権利擁護にも意識し、日頃から支援の振り返りを行うよう心がけています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		定期的に内部研修を行い、知識や技術の習得に取り組んでいます。	